

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和5年度第2回朝霞市スポーツ推進審議会	
開催日時	令和6年2月7日（水）午後2時00分から 午後2時40分まで	
開催場所	朝霞市立総合体育館 会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	委員：11人 石原会長、渋谷副会長、馬場委員、塩味委員、奥山委員、椎橋委員、鈴木（静）委員、松尾委員、齋藤委員、高橋委員、久住委員 事務局：5人 生涯学習・スポーツ課 堀川部次長、村山課長補佐 スポーツ係 相澤係長、伴仲主任、鈴木主事	
議題	1 令和5年度スポーツ事業報告について 2 その他	
会議資料	1 会議次第 2 朝霞市スポーツ推進審議会委員名簿 3 資料 令和5年度 生涯学習・スポーツ課 スポーツ係事業報告	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 による確認	
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○司会（村山課長補佐）

定刻となりましたので、ただいまより「令和5年度 第2回朝霞市スポーツ推進審議会」を始めさせていただきます。

本日、司会進行を務めます生涯学習・スポーツ課の村山です。よろしくお願いいたします。  
議事に入ります前に、本審議会は公開することになっていますので、傍聴者の確認をさせていただきます。

○事務局（鈴木主事）

本日傍聴者はいません。

○司会（村山課長補佐）

本日は藤村委員、稲泉委員の2名は所用により欠席するとの連絡がありましたので御報告します。

はじめに、審議会に先立ちまして、生涯学習・スポーツ課長 堀川よりあいさつを申し上げます。

<あいさつ>

○司会（村山課長補佐）

これより議題に入りますが、本日の審議会の出席者は15名中11名です。定足数は、条例により過半数の出席となっておりますので、本審議会は成立していることを御報告いたします。また、本日の審議会の要点を記録した会議録は、朝霞市情報公開条例に基づき公開されますので、お知らせします。

最初に、資料を御確認ください。

まず、本日の会議次第でございます。

続きまして、朝霞市スポーツ推進審議会の委員名簿でございます。

続きまして、資料 令和5年度 生涯学習・スポーツ課 スポーツ係事業報告でございます。

続きまして、武道館耐震等改修工事概要でございます。

最後に、朝霞の教育の5点です。

なお、朝霞の教育は事前にお渡ししている方に配布はしておりません。あらかじめ御了承ください。

また、事前にお送りしていた会議資料についてですが、資料に一部誤りがございました。申し訳ありませんが、今回お配りしている資料を御覧いただきますよう、お願い申し上げます。

配布資料について、お手元でございますでしょうか。資料をお持ちでない方、資料が不足している方は、事務局で用意しておりますので、お申し出ください。

それでは議事に入ります。議事の進行につきましては、石原会長にお願いいたします。

○議長（石原会長）

御指名でございますので、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議題（1）「令和5年度スポーツ事業計画」について、事務局から説明を求

めます。

○事務局（相澤係長）

それでは、議題（１）「令和５年度 スポーツ事業報告」について御説明します。  
資料を御覧ください。事業ごとに上から順に御説明させていただきます。

「第２７回 朝霞市民ウォークラリー大会」は、４月１６日（日）に、副題として「時代ときの流れを感じながら朝霞を巡る」と題し、宮戸市民センターを基点に周辺約５kmのコースで、１３チーム５３名の方に御参加をいただき、好評のうちに終えることができました。

次に、「市民スポーツ教室」について御説明します。

「ボッチャ教室」を８月９日から１０日の２日間、午後６時３０分から午後８時３０分まで総合体育館で開催し、２４名の方にご参加いただきました。

また、２月２１日及び２２日にもボッチャ教室を午後６時３０分から総合体育館で実施する予定です。

いずれも、講師は朝霞市スポーツ推進委員連絡協議会に依頼しております。

次に、「小学生スポーツ教室」について御説明します。

「ミニテニス教室」は、７月２５日から７月２７日の３日間、午前９時から総合体育館で開催し、小学４年生から６年生４８人が参加しました。

「なぎなた教室」は、８月１日から８月３日の３日間で、同じく午前中９時から総合体育館で開催し、小学４年生から６年生の３５人が参加しました。

どちらの競技も初めて経験する小学生が多くいましたが、３日間で上達していき、最終日には試合を楽しんでいる様子でした。また、なぎなた教室に関しては、今後も継続して取り組みたいとの意向から、講師のなぎなた連盟会員に相談している様子もみられました。

ミニテニス教室の講師は朝霞市スポーツ推進委員連絡競技会、なぎなた教室は、なぎなた連盟へ講師を依頼しております。

次に、「オリンピック・パラリンピックレガシー事業」では、「誰でもOK！記録を破れ」と題し、日本航空株式会社に所属されている、オリンピックの土井 杏南選手を招いて、陸上競技場で短距離走の記録測定会を実施しました。５０m走６１人、１００m走５５人の合計１１６人の参加者が、自己記録の更新に挑戦したり、土井選手に質問をしたりと、充実したイベントとなりました。

続きまして「溝沼子どもプール」について御説明します。

今年は７月８日から９月３日の５８日間に渡って開催しました。今年度は市内外問わず入場可能、定員の制限も撤廃し、午前の部と午後の部の完全入替制で実施しました。昨年までの制限等を取り払った上での開場となりましたが、大きな混乱や事故等もなく無事に閉場することができました。

なお、今年度は約４万人もの入場者があり、昨年の約３倍に当たる入場者数の増加となっております。

今後も利用者が安心安全に御利用いただけるよう、利用者や委託業者からの意見を取り入れつつ、適切に開場してまいります。

次に「ビームライフル・ビームピストルスポーツ射撃体験会」ですが、6月11日及び8月26日に総合体育館サブアリーナで実施しました。6月開催時には160人、8月開催時には100人の参加がありました。

本イベントは、東京2020大会の射撃会場となった朝霞市で、市民が気軽に体験できるビームライフル・ビームピストルスポーツ射撃体験会を開催し、射撃の魅力を体験してもらうことで、スポーツ推進につなげることを目的としております。普段、触れる機会の少ない競技ということもあり、多くの方が参加され、また、参加者アンケートの内容も「楽しかった」や「また参加したい」といった意見が多く寄せられました。

次に「第68回 朝霞市民総合体育大会市民体育祭」ですが、10月8日に朝霞中央公園陸上競技場で開催しました。本年度の市民体育祭は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、午前8時から午後3時までの、従前に近いプログラム内容で行いました。朝霞市スポーツ推進委員や朝霞市スポーツ協会を始め、多くの役員にご協力をいただき、また、参加地区数が昨年度の5地区から10地区に増え、そして多くの一般参加者を迎え、賑やかな体育祭となりました。

続いて行われた市民体育賞の表彰式では、華々しい功績を残した選手や、長きに渡り本市のスポーツの振興、発展に大いに寄与していただいた市民など、合計141人が表彰され、観客席からは拍手が送られていました。参加者数も昨年度に比べて増加となっております。

「第62回 朝霞市ロードレース大会」は、例年同様、11月23日の勤労感謝の日に、小・中学生、親子ふれあい、一般男女、壮年などの17クラスに分け、朝霞中央公園陸上競技場及び朝霞の森周辺で実施しました。今回が実に5年ぶりの実施となり、一部種目では大会記録も更新され、参加者それぞれが普段の練習の成果を十分に発揮できた大会になったと考えております。

また、招待選手として計15人のコモディイイダの選手にも参加していただきました。招待選手のため、大会の順位には反映されませんでした。トップレベルの走りを披露してくださりました。

表彰式では各種目の1位から6位までの方に楯、メダル及び賞状を贈呈し、喜ばれている姿が印象的でした。

次に学校体育施設開放事業についてご説明します。

「学校体育施設開放事業」は、市内各小・中学校15校の協力の下、学校教育で使用しない時間帯に学校体育施設を市民のスポーツ団体へ開放する事業を行っており、学校ごとに貸出日、時間帯を定めて実施しています。

令和5年12月末時点では、利用登録団体が140団体、利用者数が134,336人となっております。

なお、年度末までの利用者数は約180,000人の想定としております。

「陸上競技場個人無料開放事業」は、毎週火曜日と第2・4土曜日に、「総合体育館個人開放事業」は毎週火曜日と水曜日に実施しています。

令和5年12月末時点での実績となりますが、陸上競技場個人無料開放では6,323人、総合体育館個人開放では5,384人の方が利用されています。

なお、年度末までの利用者数は、陸上競技場個人無料開放が約8,400人、総合体育館個人無料開放：約7,200人の想定としております。

開放事業につきましては、利用者の意見をいただきながら、より良いものとなるよう、

今後改善を行っていく予定です。

令和5年度 生涯学習・スポーツ課 スポーツ系の事業報告についての説明は、以上でございます。

○議長（石原会長）

ただいまの説明について、御意見、御質問等ございますか。

○斎藤委員

今年度の体育祭について、従前の午後3時までの開催時間としたことに加え、コロナ禍の中で創意工夫等されたものを活用しながらスムーズに進行できたことは非常に良いと感じられました。

また、事務局職員も人事異動等により体育祭経験者が少ない中、最後まで対応できたことを評価します。

○事務局（堀川部次長）

今年度、事務局職員で体育祭を経験したことがあるのはスポーツ系の2名のみという中で取り組んできましたが、スポーツ推進委員や関係者の方からアドバイスをいただき、無事終えることができたと思います。感謝申し上げます。

○渋谷委員

市民体育祭及びロードレースで協力してもらったコモディイイダだが、先日開催された埼玉県駅伝大会に初めて参加し優勝を飾りました。今までは東京都の所属として扱われていたため参加できませんでしたが、朝霞市在住・在学・在勤の選手またはチームが出場可能と要項が変更になったため今回参加できることになりました。地域のイベント等にも協力的で、朝霞に貢献してくれていると思います。

○高橋委員

ポッチャ教室の参加人数が少ないため、実施方法を変更してみてもどうでしょうか。2日間参加が難しい方もいるため、すでに経験済みの方は1日のみの参加も可能としたり、開催時間を早めるなど検討してほしい。

自身も教室に参加したことがあり、老若男女を問わず楽しめる競技であるため、より良いものとなることを期待します。

○久住委員

中学校の部活動地域移行に伴い教員の働き方改革が求められており、休日の部活動についてスポーツ協会へ依頼があったと聞いたが、どのような動きがありましたか。

○事務局（堀川部次長）

先日、教育指導課職員と同行し、朝霞市スポーツ協会の皆様へ相談させていただいたところです。部活動全てを地域移行することは難しいと思うので、例えば、野球やサッカー等の特定の部活で休日に指導を協力してくれる人がいないか、そういった人材がいれば団体から紹介してもらえないかといった投げかけを行ったところです。まだまだ説明時間も足りないと思うが、まずはキックオフの会議ということで説明し、地域移行への第一歩となることを期待しています。

○議長（石原会長）

他に御意見、御質問等ございますか。ないようですので、次に、議題（２）「その他」について事務局から説明を求めます。

○事務局（相澤係長）

それでは、議題（２）「その他」について、事務局より２点申し上げます。

１点目ですが、次回のスポーツ推進審議会については、７月頃を予定しております。令和６年度最初の会議となり、当該年度の事業計画もお示ししますので、その際に御意見をいただけますと幸いです。

２点目ですが武道館の改修工事についてです。こちらにつきましては、課長補佐の村山から御説明申し上げます。

○事務局（村山課長補佐）

それではお手元の資料「武道館耐震等改修工事概要」を御覧ください。

耐震化として、耐震壁を２か所設置するほか、柱と壁の間に隙間を空けることにより、柱が破壊されることを防ぐため、スリットを３か所設けます。

長寿命化、これはリニューアルということですが、屋上防水、外壁・内壁改修、床改修、窓の二重サッシ化、配管・配線の更新、外構改修などを行います。

バリアフリー化としては、エレベーター、バリアフリースイレ、車いす昇降機、点字ブロック・手すり、ヒアリンググループ、授乳室、玄関自動ドアの設置などを行います。エレベーターは、建物の南側に増築します。車いす昇降機は、１階ホールから柔道場に行く間に階段が６段あり、この場所に設置を行います。ヒアリンググループは、聴覚障害者が講師や指導者の声をクリアに聞くための設備で、ループアンテナが柔道場及び剣道場の床に埋設されます。

その他、照明のＬＥＤ化、空調設備の設置、医務室の設置を行うほか、敷地内のシルバー人材センターの建物を解体します。工事期間中、シルバー人材センターは市民会館で業務を行い、武道館工事終了後、シルバー人材センターの負担で現在と同じ場所に新事務所を建て、約２年後に戻ってくる予定です。

工期は、令和６年１月２４日から令和７年３月１４日までで、その期間中は利用団体が利用できないこととなりますが、代替施設として中学校の武道館や総合体育館の案内を行いました。

施工業者は、永田建設株式会社で、深谷市の業者ですが、本市では、ほんちょう児童館建設の実績がございます。

事務局からの説明は以上となります。

○議長（石原会長）

ただいまの説明について、御意見、御質問等ございますか。

○高橋委員

避難所としての機能は有していますか。例えば、冷暖房や非常用コンセントの設置があれば望ましいが、今後、設計変更もありえますか。

○事務局（村山課長補佐）

建物の安全性については、国が定める耐震基準の１．２５倍の基準で設計を進めており、安全性が担保されるだけでなく、大きな地震があった後でも継続して利用できると考えられます。

武道館は指定避難所にはなっておらず、一時的に避難する場所として想定しています。また、空調まで使用する非常用電源となると大規模な電気設備が必要となり、狭い敷地であることから、設計段階では設置を断念したところです。

○議長（石原会長）

その他、御意見、御質問等ございますか。

以上で、本日の議題はすべて終了とさせていただきます。皆様の御協力に感謝を申し上げ、議長の任を解かせていただきます。

○司会（村山課長補佐）

石原会長、ありがとうございました。

本日の会議録の承認については、後日、石原会長にお願いいたします。

以上をもちまして、「令和5年度 第2回朝霞市スポーツ推進審議会」を終了させていただきます。ありがとうございました。